

# 会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	1月25日(木)	I.A.H.R. 総会報告会	土木学会	1号2ページ参照
	2月9日(金) ~10日(土)	第12回水理講演会	東 京	1号2 "
北海道支部	2月22日(月)	研究発表会	札幌市	1号6 "
	3月5日(火)	講習会	同	1号6 "
関東支部	1月23日(火)	アジアの開発講演会	土木学会	12号8 "
中部支部	2月22日(木) ~24日(土)	セメントコンクリート講習会	名古屋市	1号6 "
関西支部	1月18日(木)	海外事情講演会	大阪市	12号9 "
	1月18日(木)	会員懇親会	同	12号9 "
	2月6日(火)	シールド工法研究会	同	12号9 "
	2月16日(金)	臨海地帯水問題研究会	同	1号6 "
	3月27日(水) ~28日(木)	騒音振動公害に関する講習会	同	1号7 "
	3月27日(水)	若い会員懇親パーティ	同	1号7 "
	5月12日(日)	支部年次学術講演会	同	1号8 "
西部支部	2月下旬	研究発表会	福岡市	12号9 "
そ の 他	1月23日(火)	化学工場における防食に関するシンポジウム	東 京	1号9 "
	2月13日(火)	構造物の塑性設計講習会	東 京 大 阪	1号9 "
	2月16日(金)			
お知らせ	■ 42年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集			12号2 "
	■ I.A.H.R. 日本開催について			12号5 "
	■ 第12回国際応用力学開催について			12号3 "
	■ 日本学術会議員選挙に関する有権者名簿の登録について			1号3 "

## 第54回通常総会開催のお知らせ

昭和43年の通常総会は、つぎの日程で東京都において開催いたします。多数ご参加下さい。

1. 開催日時：1968年5月28日(火) 13.00~18.00
2. 場 所：私学会館7階講堂(国電市ヶ谷駅下車徒歩3分)
3. 次 第：

総 会 事 業 報 告  
 決 算 報 告  
 名 誉 会 員 推 挙  
 土 木 学 会 賞 授 与  
 新 役 員 の 紹 介  
 特 別 講 演 会 長 講 演 ほ か  
 懇 親 会 私 学 会 館 7 階

なお第23回年次学術講演会は、この度から通常総会とは分離して、1968年10月11日(金)~15日(火)の間、名古屋市名古屋大学において開催します。このほか、特別講演、部門講演、PR講演、懇親会、見学会等をあわせて行ない「土木学会昭和43年度全国大会」と称することになりました。この大会のくわしいことはあとでお知らせいたします。

# I.A.H.R. 総会 報告会

◀ 1月25日(木) 13.00~ ▶

昨年9月11日から、9月14日にかけて、アメリカコロラド州 Fort Collins において、第12回 I.A.H.R. (国際水理学会) 総会が開催されました。それに出席された方々を講師として I.A.H.R. 総会の報告会を下記により開催いたしますのでご多数ご参加下さい。

日 時: 1968年1月25日(木) 13.00~16.00

場 所: 土木学会図書館講堂

報告プログラム:

13.00~13.30	岸 力	北海道大学	14.45~15.15	田中 茂	神戸大学
13.30~14.00	岩崎 敏夫	東北大学	15.15~15.45	室田 明	大阪大学
14.00~14.30	足立 昭平	名古屋大学	15.45~16.15	岩佐 義朗	京都大学
14.30~14.45	休 憩		16.15~16.30	石原 藤次郎	京都大学

# 第12回水理講演会

◀ 2月9日(金)~10日(土) ▶

第12回水理講演会を下記により開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 会 場: 発明会館(東京都港区芝西久保明舟町17番地・地下鉄虎ノ門下車徒歩3分)
2. 主 催: 土木学会水理委員会
3. プログラム: 第1日 2月9日(金)

9.55~10.00	開会あいさつ	土木学会水理委員会委員長 石原 藤次郎
10.00~10.15	(1) 波による塩淡水の混合について	東京工業大学工学部 ○椎貝博美・河野二夫
10.15~10.30	(2) 密度成層海における流れと密度の分布について	電力中央研究所 ○和田 明・三菱原子力工業KK 古林澄子
10.30~10.45	(3) 河口の flow pattern について	北海道大学工学部 ○柏村正和・吉田静男
10.45~11.00	(4) 河口成層流における塩水の拡散	北海道大学工学部 福島久雄・柏村正和・八織 功・大谷守正
11.00~11.10	討 議 (1)~(4)	
11.10~11.15	休 憩	
11.15~11.30	(5) 成層乱流中の塩分鉛直分散に対する乱子モデルの応用	京都大学農学部 南 勲
11.30~11.45	(6) 成層流体における乱流拡散の理論的考察	運輸省港湾技術研究所 浜田 徳一
11.45~12.00	(7) 自由水面を持たぬ水路内における密度流に関する実験報告	東京電力KK 野口俊郎・○二重作主税
12.00~12.10	討 議 (5)~(7)	
12.10~13.20	昼食・休憩	
13.20~13.35	(8) 貯水池内における洪水伝播の解析とダム放流操作に関する考察	電力中央研究所 ○秋元 保・丸岡 計
13.35~13.50	(9) 流れに発生する表面波について(第二報)	名古屋工業大学工学部 ○細井正延・杉山錦雄
13.50~14.05	(10) 床固め上流の洗掘	東京大学工学部 ○鮎川 登・矢島勝弘
14.05~14.20	(11) 河道平衡理論に関する二、三の考察	建設省土木研究所 土屋 昭彦
14.20~14.30	討 議 (8)~(11)	
14.30~14.35	休 憩	
14.35~14.50	(12) 河道形成に関する一考察	建設省土木研究所 石 崎 勝 義
14.50~15.05	(13) 琵琶湖の湖岸デルタの特性	京都大学防災研究所 矢野勝正・奥田節夫
15.05~15.20	(14) 支配流量の一計算法	京都大学理学部 堀江正治・京都大学工業教員養成所 ○大同淳之
15.20~15.35	(15) 洪水時の河床掘について	岐阜大学工学部 河 村 三 郎
15.35~15.50	(16) 砂連のスベクトル	岐阜大学工学部 河 村 三 郎
15.50~16.00	討 議 (12)~(16)	東京工業大学工学部 日 野 幹 雄

## 第2日 2月10日(土)

9.45~10.00	(17) Kármán Constant に関する二、三の考察	東京工業大学工学部 福 岡 捷 二
10.00~10.15	(18) 曲線流の乱れの特性について	京都大学防災研究所 村 本 嘉 雄
10.15~10.30	(19) 河床変動のスベクトル特性について	京都大学防災研究所 ○芦田和男・京都大学大学院 奈良井修二
10.30~10.40	討 議 (17)~(19)	
10.40~10.45	休 憩	
10.45~11.00	(20) 情報理論的水文学の一手法	東京工業大学工学部 日 野 幹 雄
11.00~11.15	(21) サージタンクの自励振動に対する理論的研究(2)一発電水力工学におけるシュミレーション一	九州電力KK 村 瀬 次 男
11.15~11.30	(22) 砂層内の塩分拡散に関する研究(第一報)	東京大学工学部 広沢裕輔・虫明巧臣・東京大学大学院 ○潘 信雄
11.30~11.45	(23) 河道内の流れの特性について(第一報)	東京大学生産技術研究所 井口昌平・○吉野文雄・東京大学工学部 鮎川 登
11.45~11.55	討 議 (20)~(23)	

◎ 講演集: 参加者の便宜のため当日会場で頒布いたしますから、ご希望の方はお買下下さい(B5判 135ページ程度、価格未定)

◎ 終了後、午後1時より“最近の河川災害調査に関するシンポジウム”を同会場において行ないます。ふるってご参加下さい。

## 最近の河川災害調査研究に関するシンポジウム

◀ 2月10日(木) 13.00~ ▶

日本学術会議水特別委員会および災害科学総合研究班河川分科会主催，土木学会水理委員会後援のもとに最近の河川災害調査研究に関するシンポジウムを下記により開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 日 時：1968年2月10日(土) 13.00~16.30  
 2. 会 場：発明会館(東京都港区芝西久保明舟町17)  
 3. プログラム：

13.00~13.10	挨拶	京都大学教授 石原 藤次郎
13.10~14.10	① 奥越豪雨および24号台風による河川災害調査	名古屋大学教授 西畑 勇夫
	② 羽越豪雨による河川災害調査	東北大学教授 岩崎 敏夫
14.10~14.40	討 議	
14.40~14.50	休 憩	
14.50~15.50	③ 河川災害調査研究の成果と今後の研究課題	京都大学教授 芦田 和男
	④ 河川災害調査研究の問題点	京都大学教授 矢野 勝正
15.50~16.30	討 議	

◎ 資料は印刷のうえ，当日参加者に配布いたします。

## 日本学術会議会員選挙に関する有権者名簿登録について

1968年11月25日に日本学術会議第8期会員選挙が行なわれますが，日本学術会議会員の選挙において選挙し，または，選挙されるためには，日本学術会議事務局に備えた有権者名簿に登録されていなければなりませんので，下記による手続をとって下さい。

### 記

#### 1. 登録カードの提出について

(1) 前回(第7期昭和40年)の選挙の有権者については，前回提出のカードにより，本年資格審査が行なわれました。

これに関し，日本学術会議中央選挙管理会から登録用カードを提出されるよう通知のあった方以外の方は，すべて有権者名簿に登録されますから，あらためて登録用カードを提出する必要はありません。

ただし，前回の登録における所属以外の部または専門で今回の登録を求めようとする方は，下記様式第1の「所属または専門変更届」により，登録用カード用紙を請求して下さい。

(2) 前回の選挙の有権者以外の方および前回の選挙の有権者で中央選挙管理会からあらためて登録用カードを提出されるよう通知のあった方が，今回の選挙に登録を求める場合は，中央選挙管理会に登録用カード用紙を請求入手のうえ，昭和43年3月31日までに中央選挙管理会に必着するよう登録用カードを提出しなければなりません。

4月1日以後に到着した登録用カードは，中央選挙管理会で保管して，次回(第9期昭和46年)の会員選挙の登録用カードとして取り扱います。

#### 2. 登録用カード用紙の請求について

(1) 登録用カード用の請求に関し，大学，研究機関等に対して，「登録用カード用紙請求者名簿」の提出を依頼して，便宜上これをもって「登録用カード用紙請求書」に代え，その提出された名簿に基づき，中央選挙管理会から当該大学，研究機関等あて一括カード用紙を送付します。

したがって，中央選挙管理会から名簿提出を依頼された大学，研究機関に所属する方で，すでに個人としてカード用紙を請求した方以外の方は，なるべくその所属の大学，研究機関等から提出の名簿によって，登録用カード用紙を請求して下さい(名簿によって請求する場合は，個人からの請求は不要ですから，重複して請求しないよう特に注意して下さい)。

(2) 前記大学，研究機関等に所属しない方等で今後個人で，カード用紙を請求する方は，下記様式第2により「登録用カード用紙請求書」を直接中央選挙管理会あて提出して下さい。

3. 有権者等の異動届について

有権者は、氏名、住所、本籍、勤務機関および職名および勤務地のいずれかに異動があったとき、博士の学位を取得した場合または住居表示の変更があったときは、そのつどすみやかに、下記様式第3により、「有権者異動届」を中央選挙管理会に提出しなければなりません。これを怠るときは、有権者の権利を行使できないことがあります。

なお、登録用カード提出者は、有権者名簿に登録される以前においても異動の届を履行して下さい。

また、本人が死亡した場合は、その旨を遺族または関係者から届け出て下さい。

なお、不明の点は、日本学術会議中央選挙管理会（東京都台東区上野公園内 電話 821-3751 代）へお問合せ下さい。

様式第1 (用紙はなるべく半紙半截大(B5)のもの、または葉書をを用いてください。様式第2、第3の場合も同じ)

所属部または専門変更届

昭和 年 月 日

日本学術会議中央選挙管理会 御中

(現登録の所属) 第 部 学 地区  
(ふりがな)

氏 名 ㊟

わたくしは、日本学術会議第8期の会員選挙のため有権者名簿への登録に際しては、現在の所属部または専門を変更したいので登録用カード用紙を請求いたします。

様式第2

登録用カード用紙請求書

(ふりがな)

氏 名 ㊟

住 所

勤務機関および職名 (又は自営の職業名)

様式第3

日本学術会議 有権者異動届  
会 員 選 挙

昭和 年 月 日

日本学術会議中央選挙管理会 御中

第 部 学 地区  
(ふりがな)

氏 名 ㊟

下記のとおり異動がありましたからお届けします。

事 項	(新)	(旧)
1. 氏 名		
2. 住 所		
3. 本 籍		
4. 勤務機関および職名		
5. 勤 務 地		
6. 博 士 の 学 位	① 学位の種類 ② 授与年 昭和 年	③ 授与大学 ④ 所属学会

(注) 1. 事項 1~6 のうち該当事項のみ記載すればよい。  
2. 新たに博士の学位を取得した者は、学位の種類、授与大学、授与年とともに、かならず所属学会名を記入すること。

北海道支部行事案内 (札幌市南1条西2丁目 勸銀ビル5階 電話 札幌 25-7038)

(1) 研究発表会

◀ 2月26日(月) ▶

1. 場 所: 札幌市民会館

2. 発表内容:

- 第1会場 (札幌市民会館2階1号室)
- ① 9.45~10.00 主げたのねじり剛性を考慮した斜角格子げたの荷重分配性状 北見工大 菅原 登
  - ② 10.00~10.15 アフィン荷重法による直および曲線連続桁の解析 北大 稼農 知徳
  - ③ 10.15~10.30 断面変形を考えた2室箱桁の応力解析について 室蘭工大 能町 純雄・尾崎 諒・○杉野 啓
  - ④ 10.30~10.45 コンクリート箱桁の曲げねじりにおけるハンチ等の影響 室蘭工大 尾崎 諒
  - ⑤ 10.45~11.00 定和分変換による曲線格子桁の解法—開断面主桁の場合— 室蘭工大 能町 純雄・○岡村 忠夫・吉田 絃一
  - ⑥ 11.00~11.15 斜支承を有する連続格子桁について 道コンサルタントKK ○青木 弘・能町 純雄
  - ⑦ 11.15~11.30 和分変換による曲線格子桁の解法 函館ドックKK 能町 純雄・阿部 俊視・池田 静男・○小針 憲司
  - ⑧ 11.30~11.45 3径間連続逆ランガー桁の振動について 函館ドック 瀬谷 拓治・○浅野 幸雄
  - ⑨ 11.45~12.00 或る斜角格子桁に関する一考察 函館ドック ○瀬谷 拓治・○村井 英治
  - (昼食休憩)
  - ⑩ 13.00~13.15 フーリエ級数による連続曲線桁の解析 北大 薄木 征三
  - ⑪ 13.15~13.10 アナグロ計算機による線型および非線型の地震応答スペクトル解析と耐震設計法について 2, 3 の考察 北大 渡辺 昇
  - ⑫ 13.30~13.45 曲線連続桁の曲げねじり特性について 北大 渡辺 昇・○佐藤 浩一
  - ⑬ 13.45~14.00 斜張橋の構造特性について 北大 渡辺 昇・多田 和夫・○宮本 裕
  - ⑭ 14.00~14.15 曲線格子桁の横桁本数による荷重分配性状について 北大 稼農 知徳・○佐伯 昇
  - (休憩 15分)
  - ⑮ 14.30~14.45 S字曲線桁の構造特性について 北大 渡辺 昇・○薄木 征三
  - ⑯ 14.45~15.00 有限要素法による直角三角形板の解析について 北大 酒井 忠明・芳村 仁・○奥村 勇
  - ⑰ 15.00~15.15 鋼管桁橋の設計理論と基礎模型実験について 室蘭工大 中村 作太郎
  - ⑱ 15.15~15.30 岩尾内沢橋の設計について 道コンサルタントKK 猪狩 抜夫・津田 賢次・高谷 弘・○鈴木欣治
  - ⑲ 15.30~15.45 無意根大橋架設工事について 道コンサルタントKK 竹中 勝好・津田 賢次・○進藤 義郎
  - ⑳ 15.45~16.00 新豊橋架設工事について—デマビダーク工法による斜材TL型ラーメン— 道コンサルタントKK 木元 喬之・津田 賢次・高谷 弘・○吉田希男
- 第2会場 (札幌市民会館2階3号4号室)
- ① 9.45~10.00 十勝川流域における降雨特性 開発局 江利川 喜一
  - ② 10.00~10.15 北海道主要都市における確率雨量強度式について—生起頻度を含む型式について— 道庁 島 節雄
  - ③ 10.15~10.30 突断面河道に現われる特異点の検出とその流量の増減に伴う変動について 道庁 浅野 優
  - ④ 10.30~10.45 乾ドック拡張工事の1例について—函館ドックKK地区造 船所第1乾ドック拡張工事の概要— 鹿島建設KK 土志田 純達郎・○川村 政良
  - ⑤ 10.45~11.00 風による二層流の混合に関する研究 北大 岸 力・○加藤 正進
  - ⑥ 11.00~11.15 札幌市藻汐浄水場における自計装設備について 札幌市 岡本 成之
  - ⑦ 11.15~11.30 電気抵抗式土壌水分計の設計とその周波数特性 教大 山形 積治
  - ⑧ 11.30~11.45 くい(pile)打ち公式に反係数  $e$  を算入することの矛盾について 産大 今井 芳雄
  - ⑨ 11.45~12.00 鋼杭の横抵抗を利用した鋼矢板護岸の設計について 北電 酒井 賢一・○湯浅 健二
  - (昼食休憩)
  - ⑩ 13.00~13.15 Sideway Force 法による道路の滑り測定 北大 板倉 忠三・加来 照俊・○塩田 行・富松 義晴
  - ⑪ 13.15~13.30 水結道路の最急縦断勾配距離算出の1方法 北大 板倉 忠三・加来 照俊・○久保田 守
  - ⑫ 13.30~13.45 北海道の交通特性について(その2)—主として速度について— 北大 板倉 忠三・加来 照俊・齋藤 和夫・堀江 清一・金沢 孝司
  - ⑬ 13.45~14.00 交通事故解析の1方法とその応用 北大 板倉 忠三・加来 照俊・○齋藤 和夫
  - ⑭ 14.00~14.15 レーンマークに関する基礎的研究 —車輛走行状態からみた交通現象— 北大 板倉 忠三・加来 照俊・○小笠原晋二・小林 敏夫
  - (休憩 15分)
  - ⑮ 14.30~14.45 モンテ・カルロ法による日程計画に関する1考察 北大 山村 悦夫
  - ⑯ 14.45~15.00 加熱タール合材の力学的基礎性状について 北大 ○中島 昭雄・上島 壮・森吉 昭博・菅原 照謙
  - ⑰ 15.00~15.15 北海道産道路用骨材の試験値間の関連について 開発局 ○久保 宏・熊谷 茂樹・大谷 正男
  - ⑱ 15.15~15.30 神居ずい道の設計および施工 国鉄 伊藤 友太郎

3. 以上の“発表論文集”は当日会場にて頒布します。ただし支部所属会員は無料

(2) 講習会

◀ 3月5日(火) ▶

1. 場 所: 札幌市民会館

2. 講習科目:

- ① 9.35~10.55 河川汚濁の解析 北大工学部 丹 保 憲 仁
- ② 11.00~12.20 港湾関係模型実験における最近の手法 北大工学部 尾 崎 晃
- ③ 13.20~14.40 多目的ダムの自動制御について
- ④ 14.45~16.05 河川における流量時系列の解析方法 北大工学部 岸 力

3. 受講無料: テキスト有料頒布

中部支部行事案内(名古屋市東区東新町 10 番地の 1  
中部電力(株)水力部土木課内 電話 名古屋 951-8211 内線 3430)

セメント コンクリート講習会

1. 期日および場所

1968 年 2 月 22 日 (木) 名古屋市東区東新町 中電ホール  
 " 23 日 (金) 同 同  
 " 24 日 (土) 名古屋市昭和区御器所町 名工大教室

2. 定 員: 500 名

3. 会 費: 1 000 円 (テキスト代含む)

4. 主 共 催: 主催 社団法人 セメント協会 共催 土木学会中部支部・建築学会東海支部

5. 題目と講師:

① 22 日 9:10~10:20	セメントに関する最近の知識	セメント協会専務理事	中 尾 龍 秀
② 10:20~12:00	碎石ならびに軽量骨材コンクリートの性質	名古屋大学教授	小 坂 義 夫
③ 13:00~14:30	コンクリートの調合と管理	名古屋工業大学助教授	大 岸 佐 吉
④ 14:30~16:00	レデーミクストコンクリートによる施工	建設省建築研究所第 4 研究部長	亀 田 泰 弘
⑤ 23 日 9:00~10:30	コンクリート用混和材料の使用法	京都大学助教授	西 林 新 蔵
⑥ 10:30~12:00	プレキャストコンクリート	名古屋工業大学教授	木 沢 久 兵 衛
⑦ 13:00~14:30	コンクリート舗装	日本道路公団浜松工事事務所長	岩 間 滋
⑧ 14:30~16:00	コンクリートに関する最近の問題点	京都大学教授	岡 田 清
⑨ 24 日 9:00~	実 習		

内容, 方法については検討中

6. 申し込みおよび問合せ:

1968 年 2 月 8 日 (木) までに勤務先, 氏名を明記し, 会費をそえて社団法人セメント協会事業部 (東京都港区赤坂 7 丁目 5 番 5 号) へお申しこみください。

なお, 実習を希望される方は, その旨ご連絡ください。

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町 1 丁目 149 番地  
電話 大阪 (06) 981-2510 番 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 臨海地帯水問題研究会

◀ 2 月 16 日 (金) ▶

1. 日 時: 1968 年 2 月 16 日 (金) 9.30~16.30

2. 場 所: 大阪科学技術センター 4 階 401 号室 電話 大阪 (06) 443-5321 番  
 大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄 3 号線信濃橋下車北へ 150m 靱公園北東角)

3. 題目と講師:

午 前 の 部 (9.30~12.15)

開会の挨拶	土木学会関西支部長	河 村 重 俊
① 汚濁河川と湾内の水質	大阪府立公衆衛生研究所水質科主査	永 井 勉 夫
② 湾内の汚濁とその制御	京都大学教授工学部 工博	岩 井 重 久
③ 河川の汚濁と水利用についての将来ビジョン	近畿圏整備本部調査官	藤 野 良 幸
討 議 司 会	大阪大学助教授 工学部 工博 権 木 亨	

午 後 の 部 (13.30~16.15)

④ 海水の淡水化問題	(株) 笹倉機械製作所常務取締役	黒 坂 隆
⑤ 塩害問題について	京都大学教授防災研究所 理博	奥 田 節 夫
⑥ 河口湖問題について	大阪大学教授工学部 工博	室 田 明
討 議 司 会	京都大学教授 防災研究所 工博 岩 垣 雄 一	
閉会の挨拶	土木学会関西支部幹事長	伊 藤 富 雄

4. 定 員: 150 名

5. 聴 講: 無料, 来聴歓迎

(お願い) 各職場班で参加予定人員を 2 月 2 日 (金) までにハガキまたは電話にて土木学会関西支部までご一報下さい。

(2) 騒音振動公害に関する講習会

◀ 3月27日(水)~28日(木) ▶

主催：土木学会関西支部

協賛：日本建築学会近畿支部・土質工学会関西支部

最近では都市およびその周辺での建設工事と交通車輛の急激な増大のため、騒音、振動、公害が大きな問題となっております。土木学会関西支部では昭和41年4月より騒音振動委員会を設け、公害の実態およびこれが対策について検討いたしておりますが、このたび下記内容の講習会を開催いたしますのでふるってご参加下さい。

記

1. 期 日：1968年3月27日(水)、28日(木)の両日

2. 場 所：大阪科学技術センター8階大ホール 電話 大阪(06)443-5321番

大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m靱公園北東角)

3. 題目と講師：

第1日(3月27日)

- |             |                        |   |                                       |
|-------------|------------------------|---|---------------------------------------|
|             | 開会の挨拶                  | 土木学会関西支部長   | 河村重俊                                  |
| 9.30~10.30  | ① 総説                   | 京都大学教授 医博   | 庄司光                                   |
| 10.30~12.30 | ② 測定法と測定計器             |   |                                       |
|             | (a) 騒音(10.30~11.30)    | リオン(株) 理博・工博  | 守田 栄                                  |
|             | (b) 振動(11.30~12.30)    | 神戸大学教授 工博   | 畑中元弘                                  |
| 13.30~16.30 | ③ 公害の実態                |   |                                       |
|             | (a) 講演(13.30~15.30)    |   |                                       |
|             | 1. 騒音                  | 大阪市総合計画局公害対策技術課長 谷川敏夫/神戸市衛生局主幹 医博   | 花田完五/京都大学教授 医博 山本剛夫/国鉄山陽新幹線工事局次長 吉村 恒 |
|             | 2. 振動                  | 京都大学教授 工博 後藤尚男/国鉄大阪工事局次長 杉浦 弘/立命館大学教授 工博 島山直隆/神戸市衛生局主幹 医博 花田完五/神戸市土木局道路部補修課長 横山 実 |                                       |
|             | (b) パネル討議(15.30~16.30) | 座長 京都大学教授 工博  | 後藤尚男                                  |

第2日(3月28日)

- |             |                        |                                 |                        |
|-------------|------------------------|---------------------------------|------------------------|
| 9.30~11.30  | ④ 影響と許容値               |                                 |                        |
|             | (a) 騒音(9.30~10.30)     | 京都大学教授 医博                       | 山本剛夫                   |
|             | (b) 振動(10.30~11.30)    | 福井大学教授 工博                       | 鳥海 勲                   |
| 11.30~12.30 | ⑤ 公害防止条例               | 大阪市総合計画局公害対策技術課長                | 谷川敏夫                   |
| 13.30~16.30 | ⑥ 軽減対策                 |                                 |                        |
|             | (a) 講演(13.30~15.00)    |                                 |                        |
|             | 1. 騒音                  | 京都大学教授 医博 庄司光/京都大学教授 医博 山本剛夫    |                        |
|             | 2. 振動                  | 福井大学教授 工博 鳥海 勲/京都大学教授 工博 島 昭治郎/ | (株)大林組技術研究所振動研究室長 渡辺清治 |
|             | (b) パネル討議(15.00~16.30) | 座長 京都大学教授 医博 庄司光                |                        |
|             | 閉会の挨拶                  | 土木学会関西支部騒音振動委員会委員長              | 庄司光                    |

4. 定 員：300名(先着順)

5. 参加費：主催、協賛学会 会員 1300円(テキスト代を含む)

ただし講習会当日は2000円となりますので期限内に前納して下さい。

非会員 2000円(テキスト代を含む)

6. 申込期限：1968年3月12日(火)

7. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名、会員の種別(所属学会名)を明記(様式随意)し、上記参加費を添えて3月12日(火)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。

参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。

参加証のない人は入場をお断りします。

(注)都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(3) 若い会員懇親パーティ(第3回)

◀ 3月27日(水) ▶

若い会員相互の親睦をはかりたいと存じますので、多数ご参加のうえ自由なご発言をお待ち申し上げます。

1. 日 時：1968年3月27日(水)17時よりの予定(騒音振動公害講習会第1日終了後)

2. 場 所：大阪科学技術センター7階701号室 電話 大阪(06)443-5321番

大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m靱公園北東角)

3. 参加者資格：35 才未満の土木学会会員
4. 定 員：50 名（先着順）
5. 参 加 費：無料
6. 申 込 期 限：1968 年 3 月 12 日（火）
7. 申 込 方 法：参加希望者は勤務先，連絡先および氏名を明記（様式随意）し 3 月 12 日（火）までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

（4） 関西支部年次学術講演会（昭和 43 年度）

◀ 5 月 12 日（日） ▶

1. 日 時：1968 年 5 月 12 日（日）9.00～17.00
2. 場 所：大阪工業大学 電 大阪（06）952-3131 番  
大阪市旭区大宮北之町 1-158 市電大宮町下車  
プログラム，講演概要の頒価およびその他の事項については学会誌 4 月号に掲載の予定です。講演ご希望の方はつぎの講演申込要領をご覧のうえお申し込み下さい。

年次学術講演会申込要領

- 1) 講演申込方法：講演希望者は申込カード（4 枚複写綴）に 部門，題目，スライドの有無，勤務先，会員種別，学位，氏名（連名の時は講演者に○印をつける），卒業学校名および年次，連絡先を明記のうえ，2 月 15 日（木）までに土木学会関西支部へ必着するよう提出して下さい。申込カードは関西支部へ請求して下さい。
- 2) 講演内容：講演は未発表のもので 1 人 1 題にかぎります。
- 3) 講演時間：1 題につき 15 分の予定です。
- 4) 講演部門：つぎの 4 部門にわけますが，都合により講演者の了承を得たうえで，部門を変更させていただくことがあります。  
第 1 部門：構造力学・構造・橋梁等  
第 2 部門：水理学・水文学・河川・港湾・海岸・発電水力・衛生工学等  
第 3 部門：土質力学・基礎工学・土木機械・施工等  
第 4 部門：鉄道・道路・コンクリートおよび鉄筋コンクリート・土木材料・都市計画・空港・測量等
- 5) 原稿提出要領：講演申込者にはつぎの要領で講演概要の原稿を提出していただきます。  
1. 講演概要は講演者の原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますから必ず所定の用紙をご使用下さい。  
2. 用紙は執筆要領（原稿の書き方）とともに講演申込者に関西支部からお渡します。  
3. 原稿は 3 月 30 日（土）（期限厳守）までに関西支部へ必着するようお送り下さい。  
4. 原稿の長さは 1 題につき 2 ページ（図表，写真を含め 1 ページ 1 480 字詰）を原則とします。超過する場合は 2 ページまで，1 ページにつき 1 000 円の製版料を申し受けます。
- 6) 講演概要：講演者（○印）には無料，一般は有料，別刷は講演者（○印）には 30 部無料で差し上げますが，それ以外の取扱いはいたしません。

（付）テキスト頒布について

写真測量とその応用	頒価	800 円	送料	80 円
土木工学における動的現象の計測とデータ処理	"	700 円	"	80 円
水理学・水文学における最近の進歩	"	1 000 円	"	100 円
水理公式集の解説と例題	"	375 円	"	80 円
都市環境衛生	"	450 円	"	80 円
海岸工学の最近の進歩	"	700 円	"	80 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部（振替口座利用）くお申し込み下さい。



## 化学工場における腐食と防食に関するシンポジウム

日本金属腐食会議では表題の第3回シンポジウムを下記のように開催致します。今回は化学工場において実地におこっている腐食問題をとりあげ、その実体報告を中心とし、それに関する討論を通じて解決策をさぐるものとしてありまして化学工場の設計、製作および運転にあたられる方々はもちろん、機器、材料および加工に関した広い分野の関係者のご来聴、ご討論を期待致します。

なお、参加はどなたにても自由であります。

### 記

1. 場 所：1968年1月25日(火) 13:00~16:30 東京都中央区京橋1の1 プリジストンホール

2. プログラム：

(司会 東工大 末 沢 慶 忠)

1. アンモニア工場における腐食と防食
2. 石油精製・化学工場における腐食と防食
3. 腐食の実地試験について
4. 化学工場の防食管理
5. 総括討論

東洋高田 石 川 延 雄  
 日本石油 石 井 正 義  
 神戸製鋼所 高 村 昭  
 住友化学 木 島 茂

(講演はいずれも35分、総括討論50分の予定)

## 構造物の塑性設計講習会

1. 主 催：日本溶接協会
  2. 後 援：土木学会・日本鋼構造協会・日本建築学会
  3. 日 時：1968年2月13日(火) 9:00~17:00 (東京会場)  
 1968年2月16日(金) 9:00~17:00 (大阪会場)
  4. 場 所：○東京会場(2月13日)：  
 土木学会図書館講堂 東京都新宿区四谷1丁目 電話(351) 5138  
 ○大阪会場(2月16日)：  
 電子会館オーデオホール 大阪市北区梅ヶ枝町72 電話(363) 3151
  5. 定 員：200名
  6. 受 講 料：3,000円
  7. 申 込 先：○東京会場(社)日本溶接協会  
 東京都千代田区神田佐久間町 電話(253) 0581~3  
 ○大阪会場(社)日本溶接協会 西日本事務局  
 大阪市浪速区元町4-233 電話(631) 1405
  8. 申込締切：両会場とも1968年2月5日(火)までとし、それぞれ先着順200名をもって締切ります。
  9. 申込方法：所定の用紙(当会にはありませんので直接日本溶接協会事務局へ請求して下さい)に記入のうえ受講料を添えて申し込み下さい。
- なお、詳細についても直接日本溶接協会事務局へお問合せ下さい。

## 工業高校土木科教諭を対称とした夏期講習会テキスト頒布について

去る8月2~4日東京にて開催した標記講習会に使用したテキストの残部がありますのでご希望の方は土木学会編集課までお申込み下さい。

山 本 稔：平面光弾性実験の理論と実験  
 堀井健一郎：抵抗線ひずみ計によるひずみ計測の原理と実験 } 実費：300円(〒共)